

地域学校協働研修会（会津地区）

福島県教育委員会（会津教育事務所）

〈日 時〉 令和2年10月7日（水） 13:15～16:30
〈会 場〉 会津若松市東公民館、会津若松市立東山小学校
〈参加者〉 47名

講演 「with コロナ社会で求められる学校と地域の協働とは」

講師 特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク

理事長 生重 幸恵 氏

- 変化が激しい、予測できない社会において、必要とされるのは「学び続けられる人」の育成、そのために必要な力を育てているのが人間の学習です。「学校と地域の連携・協働」で人と人がつながり、目の前の子どもたちに豊かな体験をたくさんさせてほしい。
- with コロナ社会は長期化する。以前の状態には戻れないからこそ、地域や学校の工夫が必要となる。自分にとっては有益な情報や手段でなくとも、他人にとっては有益なものとなる場合がある。とにかくできることがあれば発信していくことが大切。そこから生まれる新たなつながりもある。

【受講者の声】

- 地域学校協働活動の重要性を再確認することができました。これからの社会を予想してつながりを大きくしていくことは大切だと感じました。
- 子どもの学ぶ場所は地域社会にもあることを確信しました。子どもと社会とがつながり、未来を生きる力を付けさせていきたいと思いました。「ちょっと一歩踏み出したおせっかい」を実施していきます。



実践紹介・見学 「東チャレンジクラブの取組」について

発表者 会津若松市東公民館 館長

山内 久良 氏

東チャレンジクラブ コーディネーター

山内 壽子 氏

- 放課後子ども教室と児童クラブが連携しながら、全ての児童が豊かな（静と動の空間による選択）体験ができるように、一体型で行っている。募集の仕方はお便り配布だけでなく、PTA 総会等で時間をもらい周知する工夫をしている。

【受講者の声】

- 放課後子ども教室と児童クラブの一体型の展開が参考になりました。これも、学校と地域の連携がなければ成立しないと感じました。
- 子どもたちが自らプログラムを選択して活動しているために、主体的に活動していました。参考になりました。

